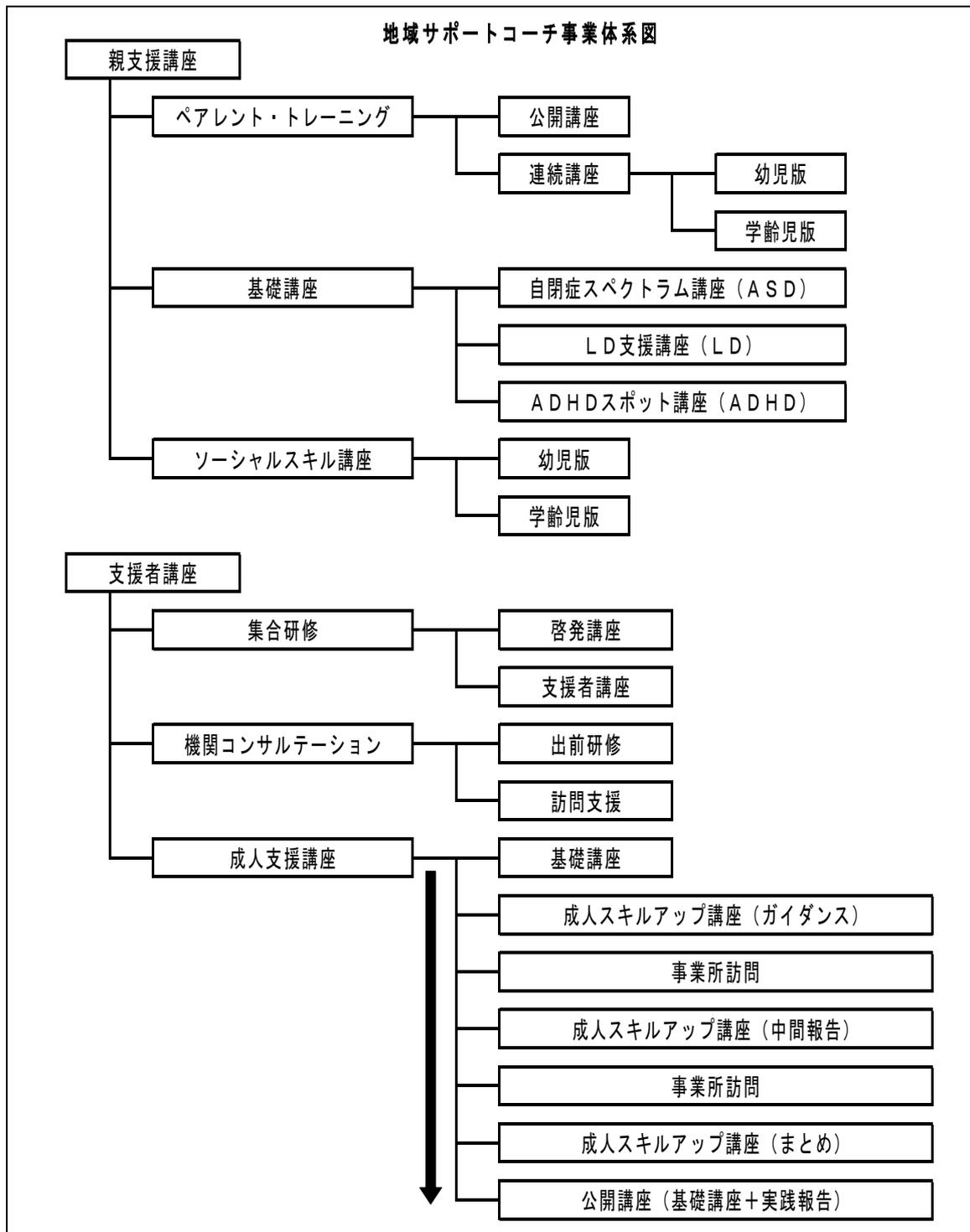


発達障がい者支援センター（エルムおおさか）による地域サポート体制の強化
（平成 26 年 4～7 月）

事業概要

地域サポートコーチ配置し、地域の関係機関・事業所等への啓発・研修・支援、ペアレント・トレーニング等の親支援を実施。



【 取 組 状 況 】

親 支 援 講 座**【1】ペアレント・トレーニング**

児童の特性や行動を理解し、親自身が児童にとっての「最良の療育者」となり自尊心を高めることができるよう、行動療法に基づく効果的な対応法を学び、話し合い、練習する。

【3】ペアレント・トレーニング公開講座

発達障がいのある児童の特性や対応方法を解説し、特性に応じた対応の重要性を啓発するとともに、ペアレント・トレーニングの目的、概要、実践、効果を紹介することでペアレント・トレーニングの受講を促す。

★実施済み（2回）

日程	会場	参加者数		
		保護者	支援者	計
4/22	阿倍野市民学習センター	22	28	50
7/29	ドーンセンター	32	21	53
計		54	49	103

★公開講座アンケート結果（4/22分のみ、回収率84%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	32
参考になった	9
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	1
無回答	0
計	42

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	35
わかりやすかった	7
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	0
計	42

【感想・意見】

- ・ずっと悩んでいたことの解決の糸口をつかめた気がする。是非連続講座を受講したい。
- ・「当たり前」のことを上手に褒めることができるようになりたいと感じた。
- ・保護者にも勧めたいが、難しい面もあるので具体的アプローチを教えてほしい（支援者）
- ・これまでにたくさんの講座を受講してきたが、とても参考になった（支援者）

★実施予定 (2回)

日程	会場	募集人数
9/2	こども文化センター	50人
12/2	西淀川区役所	50人

★ペアレント・トレーニング実践報告会 実施予定 (1回)

日程	会場	内容	募集人数
3月17日	未定	基調講演・実施報告・体験談	150人

(4) ペアレント・トレーニング連続講座

行動療法に基づく効果的な対応方法を身につけ、児童の適応行動を増やす。計画表に沿ってテーマを決めて学習・話し合い・練習を行い、ホームワークを自宅で実践する。

★実施済み (1クール：幼児：6回×1クール 計6回)

対象	期間	会場	参加者数		
			保護者	支援者	計
幼児	4/23～7/9	早川福祉会館	10	1	11

★実施予定 (1クール：幼児6回、学齢：9回 計60回)

対象	期間	開催場所 (予定)
幼児	9/4～11/13	長居障がい者スポーツセンター
	9/10～11/19	市民交流センターなにわ
	(土曜日) 11/29～2/28	子育ていろいろ相談センター
	12/3～2/18	未定
学齢	(低学年) 5/20～11/4	早川福祉会館
	(低学年) 6/6～11/21	長居障がい者スポーツセンター
	(高学年) 10/14～2/24	阿倍野区民センター
	(低学年) 11/21～3/20	未定

(3) ペアレント・トレーニング フォローアップ講座

ペアレント・トレーニング連続講座を受講された保護者を対象に、講座終了後ある程度の期間経過した段階で、ご家庭での取り組みや、課題等について再整理・共有し、今後のお子さんへのかかわり方の一助とする目的で開催する。(平成25年度実施済の講座のフォローアップ)

対象	日程	参加者数
		保護者
幼児	6/11	9
	6/13	6
	6/27	4
	7/23	6
学齢	6/9	7
計		32

(4) ペアレント・トレーニング《区役所版》

(幼児：5回連続＋フォローアップ/1クール、学齢：9回連続/1クール 計39回)

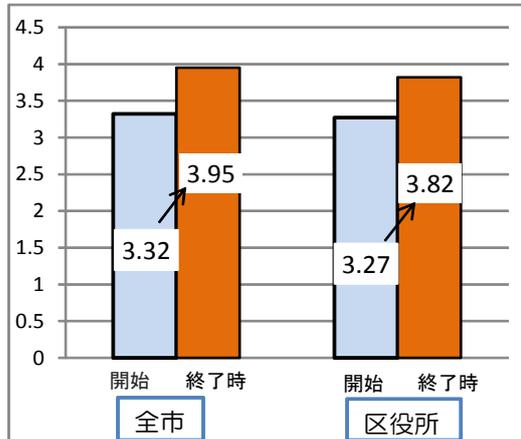
実施区	期間		対象	参加者数
	[連続講座]	[フォローアップ]		
淀川区	5/9～7/4	10/10	幼児	9
城東区	5/12～7/28	10/6	幼児	7
港区	5/19～7/14	10/20	幼児	11
此花区	10/21～12/16	2/24	幼児	
旭区	10/27～1/19	3/16	幼児	
生野区	10/8～3/11		学齢	

ペアレント・トレーニング実施結果

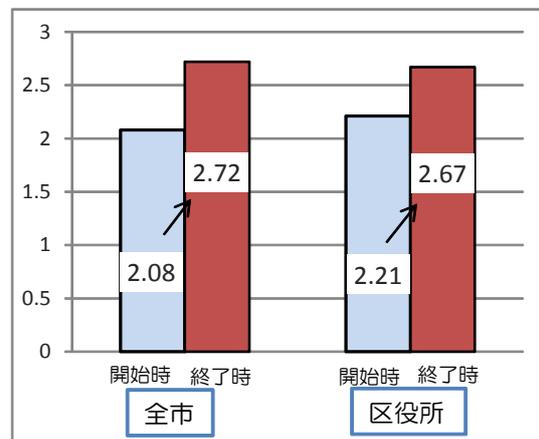
[平成26年7月末現在]

全市版 n=10 区役所版 n=19
(港・城東・淀川)

【自信度】



【ストレス軽減】



区役所版のまとめ

①参加者の感想

- ・本を読んだだけでは理解できなかったことを、実際に体験しながら学べた。子育てを楽しむなんてなんでもできるわけがないと思っていたが、たった5回の講座で子育てを楽しもうと思う位自分が変化していた。
- ・今までは幼稚園に行くのを嫌がって登園時刻に行けたことがなかったのに、今では遅刻しないで通えるようになった。
- ・こどもが嘔みついたり、髪をひっぱったりしなくなった。

②区役所職員の感想

- ・通常面接で、褒める言葉が出るようになった。
- ・母の表情が変わった。
- ・こどもの行動をきちんと見られるようになった。
- ・途中で脱落した人と終了した人との効果の差が激しい。

③全市版の参加者と区役所版の参加者を比較して

- ・区役所版の参加者は全市版の参加者に比べると参加当初の意欲、モチベーションは低いですが、参加するにつれて、高くなっていく。
また出席率は全市版88.3%、区役所版75.8%と区役所版が低いですが、アンケートから効果に差はみられていない。
区役所版の方が、保護者の体調や生活環境により参加が難しい人にも参加できる機会となっているのではないかと。
- ・区役所版では普段からの区役所職員との信頼関係があり、講座終了後も継続して支援が受けられる。

【2】基礎講座

(1) 自閉症スペクトラム障がい講座 (ASD)

「自閉症スペクトラム障がいのある児童の理解と支援」をテーマに、作業療法士から特性や環境調整について講演し、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み (4回/クール×1クール 計4回)

内容	期間	会場	参加者数 (延べ)		
			保護者	支援者	計
・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援	6/10・17 7/1・8	市民交流センター なになわ	97	37	134
計			97	37	134

★アンケート結果 (回収率 75%)

講演内容について (満足度)	人数 (4回の延べ)
大変参考になった	67
参考になった	34
あまり参考にならなかった	0
全く参考にならなかった	0
無回答	0
計	101

講演内容について (理解度)	人数 (4回の延べ)
大変わかりやすかった	72
わかりやすかった	26
難しかった	3
かなり難しかった	0
無回答	0
計	101

【感想・意見】

- ・初めて研修を受けさせて頂き、子どもの世界に少しふれれたと思います。
- ・まだ子どもが小さく、障がいを受け入れだしたのが最近なので、とても勉強になりました。
- ・運動面の苦手さや姿勢の面について遊びを取り入れながらできることをやっていきたい。
- ・事例検討などを多くして欲しい。

★実施予定（4回/クール×3クール 計12回）

内容	期間	会場
<ul style="list-style-type: none"> ・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること 	9/6・13・20・27	子育ていろいろ相談センター
<ul style="list-style-type: none"> ・感覚と運動の視点から ・環境づくり ・気になる行動の考え方 ・不器用さへの支援 	11/11・18、 12/2・9	未定
<ul style="list-style-type: none"> ・特徴と支援 ・得意な事、苦手な事 ・支援の手立て ・家庭としてできること 	未定	子育ていろいろ相談センター

(2) ことばの指導・読み書き・計算(LD)

学習のつまずきや宿題への対応など、幼児期学齢期の特性に応じた支援や指導方法のポイントについて、講義をうけ、学習する。

対 象：幼児期・学齢児の保護者、支援者

回 数：1回完結

★実施済み（1回）

内容	日程	会場	参加者数（延べ）		
			保護者	支援者	計
豊かなことばを育むために、幼児期にやっておきたいかわりと支援	7/14	港区民センター	33	28	61

★アンケート結果（回収率87%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	25
参考になった	22
あまり参考にならなかった	2
全く参考にならなかった	0
無回答	4
計	53

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	28
わかりやすかった	23
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	2
計	53

【感想・意見】

- ・実際の現場での指導前後のビデオを視聴でき、具体的でわかりやすかった。
- ・日々の業務で伝えている点と大きく違いが無かったので支援のあり方の再確認ができた。
- ・具体的実践方法を文献の紹介だけでなく、VTRでの教材があればより参考になると思う。
- ・事前に質問を受けて、当日答えられるようにして頂ければ、良いと思った。

★実施予定（3回）

内容	日程	会場
「読み・書き」について、学齢期にやっておきたい関わりと支援（仮題）	9/29	淀川区民センター
学齢期の学習におけるの計算について（仮題）	10/6	大阪産業創造館
学齢期の「話す・聞く」について（仮題）	10/27	大阪市中心公会堂

（3）ADHDスポット講座（ADHD）

ADHDの診断を受けた児童には、身辺自立の苦手さは少ない一方で、急に道に飛び出す、食事中に何度も席を離れるなどの、より注意を要する問題行動が多くみられる。支援者や保護者は強いストレスを感じがちだが、最も困っているのは本人であり、児童によっては自閉症スペクトラム障がいや学習障がいを同時にもっている場合があり、児童の状態に応じた支援が必要となる。本講座では、ADHDの理解を深めていただくために、ADHDの基本的知識や関わり方などのポイントについて、講義をうけ、学習する。

★実施予定（1回）

内容	日程	会場
ADHDの診断を受けた児童への関わり方について（仮題）	未定	未定

【3】 ソーシャルスキル講座

対人関係を円滑にすすめるための具体的行動の身につけ方について、年齢や特性に応じてどのように教えていけばよいのか、家庭での取り組み方法を学習する。

★実施済み（幼児3回/クール×1クール、学齢児（低学年）3回/クール×1クール 計6回）

区分	内容	日程	参加者数（延べ）		
			保護者	支援者	計
幼児版	幼児期で身に付けたソーシャルスキルについて	5/26・6/2・9	35	13	48
学齢児版（低学年）	小学校（低学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	6/16・30・7/7	57	29	86
計			92	42	134

★アンケート結果（回収率76%）

講演内容について（満足度）	人数（6回の延べ）
大変参考になった	71
参考になった	19
あまり参考にならなかった	5
全く参考にならなかった	0
無回答	7
計	102
講演内容について（理解度）	人数（6回の延べ）
大変わかりやすかった	64
わかりやすかった	27
難しかった	3
かなり難しかった	1
無回答	7
計	102

【感想・意見】

- ・自身の子どもの関わり方について反省させられることが多々あった。
- ・受講しただけではなく実際にできるように考えていきたい。
- ・一人を好む子でも友達関係を持つことのルール・楽しさを伝えていきたいと感じた。
- ・質疑応答があればよかった

★実施予定（学齢児（高学年）3回/クール×1クール 計3回）

区分	内容	日程	会場
学齢児版（高学年）	小学校（高学年）で身に付けたいソーシャルスキルについて	1/26・2/2・9	未定

支援者講座**【2】 集合研修****(1) 啓発講座**

民生委員・児童委員や地域女性団体協議会など、地域で活動されている団体等の市民向け講座として発達障がいの基礎的な講座等を開催し、発達障がいの理解促進・啓発を行う。

★実施済み（9回）

対象	内容	会場	日程	参加者数
当事者・保護者 団体等	保育園職員・保護者研修	西成区	4/5	131
	児童発達支援事業所利用保護者	淀川区	5/20	38
		淀川区	5/23	42
		平野区	6/23	34
	法人内の相談窓口者	西区	7/10	58
	発達障がいサポーター研修	旭区	7/8	29
市職員(家児相・保健 師・心理士等)	リハセン新人職員研修	平野区	4/15	30
	家児相研修	北区	6/30	17
区社協	発達障がい基礎講座	浪速区	5/24	40
合 計				419

★アンケート結果（総実施者数 200 人 回収率 53%）

講演内容について（満足度）	人数
大変参考になった	46
参考になった	53
あまり参考にならなかった	4
全く参考にならなかった	0
無回答	3
計	106

講演内容について（理解度）	人数
大変わかりやすかった	35
わかりやすかった	62
難しかった	5
かなり難しかった	1
無回答	3
計	106

(2) 支援者講座**1. 支援者向けソーシャルスキル講座**

発達障がいのある児童生徒及び家族の支援者を対象に、ライフステージに応じて必要とされる社会性の指導方法について講義を通じて学習する。

★実施済み (2回)

内容	日程	会場	参加者数
中高生へのソーシャルスキル・ ライフスキル指導方法について	8/4	阿倍野市民学習センター	58人
	8/11	難波市民学習センター	65人
計			123人

★実施予定 (1回)

内容	日程	会場
成人期に必要なライフスキルの指導方法について	8/26	住之江会館

2.ペアレント・トレーニング トレーナー養成講座

区役所の支援者を対象として、ペアレント・トレーニングの知識と技術を習得することで、支援内容が、よりこどもの個性や発達の特性にあったものへと、充実させていくことを目的として実施する。

★実施予定 (2回)

日程	会場	対象
8/21・28	心身障がい者リハビリテーションセンター 4階第1会議室	家庭児童相談員・保健師・心理相談員

【2】機関コンサルテーション**(1) 出前研修**

集合研修を聴講したくても、施設の現場から離れることができないなどの支援者のニーズにあわせて、施設等を訪問し発達障がいに関する研修を実施する。

★実施済み (21回)

対象	内容	日程	参加者数
保育所・園	発達障がい基礎講座	4/26	41
		5/15	15
		5/20	10
		6/14	25
		6/23	18
		7/12	25
幼稚園	発達障がい基礎講座	5/20	5
専修学校	発達障がい基礎講座	5/21	39

障がい児支援機関 (児童発達支援事業所、放課後 等デイサービス事業所)	発達障がい基礎講座	6/10	11
		6/18	15
青年・成人期支援機関 (就労移行支援・就労継続A・B 生活介護、施設入所支援・GH・ CH等)	発達障がい基礎講座	4/18	12
		5/9	6
		5/22	17
		5/29	17
		6/13	5
		7/18	12
障がい者支援機関 (社福法人、NPO 法人等全職 員)	発達障がい基礎講座	5/17	26
		6/7	47
		7/11	54
その他	西成区ケアマネ研修	6/24	36
合 計			446

★アンケート結果 (総実施者数 365 人 回収率 78%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	167
参考になった	104
あまり参考にならなかった	11
全く参考にならなかった	0
無回答	2
計	284

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	175
わかりやすかった	106
難しかった	0
かなり難しかった	0
無回答	3
計	284

(2) 訪問支援

各事業所等団体に機関支援の一環で訪問し、センターで直接相談のケースではないが支援方針の助言を実施したり、施設運営等の助言を実施する。

★実施済み (延べ160回・94か所)

区分	延べ回数	実訪問か所数
私立保育園	87	49
障がい児通所施設	8	6
教育関係機関	2	1
成人期支援機関	37	23
障がい児・者相談支援機関	8	2
居宅介護事業所	2	2
福祉サービス多業種(障がい・高齢)	2	1
社会福祉協議会	3	3
その他 大阪市関係	0	0
区役所(保健福祉含む)	9	5
労働関係機関	1	1
その他	1	1
計	160	94

【3】成人支援講座

(1) 成人スキルアップ講座

- ①基礎講座
- ②基礎講座に参加の成人期発達障がい者支援事業所（今年度は6事業所）をモデルに、年2～3回の訪問コンサルテーションを含め、ガイダンス講座・中間報告会・スキルアップ講座まとめを行い、スキルアップを目指す。
- ③公開講座として①の基礎講座に加え、②の事業所に取組内容を実践報告として発表してもらい、参加者に具体的支援手法を学んでもらう。

☆成人スキルアップ講座の流れ

○成人支援基礎講座

成人期基礎講座として、発達障がい者支援のあり方について講演を行い、基礎的な支援の内容を学ぶ機会を提供する。

○ガイダンス講座

機関コンサルテーションを希望の施設に、ガイダンスを行い、コンサルテーションを実施する意義、受け手と成り手の各々のスタンスについて講義。コンサルタントが施設のニーズを集約・課題点を明確にし、情報共有したうえで第1回訪問までにコンサルタントが助言等を精査する。

第1回訪問時に施設内を分析し課題点の整理、次回訪問までに取り組む内容等を助言。2回目の訪問の際には助言内容実施後の変化の状況を共有し、必要に応じて評価セッションを行い、その場でフィードバック。

○中間報告会

各事業所2回のコンサルテーションの実施を踏まえ、課題点の整理とコンサルを受けて施設内で物理的構造化、環境設定、対応方法をどのように取り組んだか、また、成果として施設内での利用者及び支援者にどのような変化が見受けられたかなどを、発表を基に最終コンサルテーションの方向性を明確化する。

○成人スキルアップ講座まとめ

2回の訪問コンサルテーションを踏まえるとともに、施設独自の取り組み内容を整理し、実践報告会として実施する講座（2/7予定）までに追加で実施したこと等、支援の方向性、コンサルテーションの必要性を確認する。

○公開講座：基礎研修＋実践報告（2/7予定）

講演と、事業所での実践報告の発表。次年度に関しても別の事業所に対して本事業の実施する方向性を予告し、希望施設を募る。

(2) 成人スキルアップ講座の各講座の実施状況

①基礎講座

★実施済み (1回)

内容	日程	参加者 内訳				
		行政	事業者 支援者	家族 本人	未記入	計
発達障がいのある成人期の支援について	5/30	7	78	13	3	101

②ガイダンス講座

★実施済み (1回)

内容	日程	参加者
コンサルテーションの意義等	6/27	6施設 22人

③中間報告会

★実施予定 (1回)

内容	日程	対象	募集人数
取組内容や成果から今後のコンサルテーションの方向性を明確にする	10/3	障がい者支援機関	10人

④成人スキルアップ講座まとめ

★実施予定 (1回)

内容	日程	対象	募集人数
取組内容の整理、支援の方向性、コンサルテーションの必要性など	12/5	障がい者支援機関	10人

★基礎講座参加者アンケート結果 (回収率 77%)

講演内容について (満足度)	人数
大変参考になった	23
参考になった	39
あまり参考にならなかった	11
全く参考にならなかった	1
無回答	4
計	78

講演内容について (理解度)	人数
大変わかりやすかった	35
わかりやすかった	38
難しかった	2
かなり難しかった	0
無回答	3
計	78

【感想・意見】

- ・講義＋事例（映像）スタイルで、分かりやすく自閉症の問題行動を捉えることができた
- ・具体的なケースが映像としてみることができ、支援方法について実感できた
- ・質疑応答があればなお良いと感じました。
- ・施設の抱える内容でなかったなので、もう少したくさん事例検討をして欲しかった。

【スキルアップ事業の実施状況】

事業所	施設種別（主たる対象者）	対象者の概要・課題点
㉠	就労継続A （知的・精神） 高機能の受け入れも有	20代男性 療手B1 広汎性発達障害（学齢期まで通常教育、成人期に入り診断の際知的面も指摘） 施設外作業（放置自転車整理）にて一般市民に威嚇する行動がある。
㉡	就労移行・就労継続B （身体・知的・精神）	10代男性 療手A 自閉症 休憩時間中における他の特定の利用者への粗暴行為、作業資材への落書き。
㉢	就労移行・就労継続B （身体・知的・精神）	20代男性 療手A 自閉症 単独通所の際、駅等の非常ベルを鳴らす。作業はできるが、少し離れた他の利用者の作業の間違いを指摘しに行くことがある。
㉣	就労継続B・生活介護 （知的）	30代男性 療手A 自閉症 事業所内の特定の女性へのこだわり行動。身体に触ろうとするためトラブルになる。
㉤	生活介護 （知的）	20代男性 療手A 自閉症 昼食時、特定利用者の食べ方を気にしながらの摂食。食べる順番のこだわりもある。特定利用者が食べ終わると一気に詰め込む行動がある。
㉥	生活介護 （知的）	10代男性 療手A ソトス症候群 作業の集中力が持たずなかなか進まない。対職員への粗暴な行動、自傷行為もある。

(3) 成人支援公開講座（基礎講座＋実践報告）

基礎講座として、自閉症の問題行動に視点を当て、冰山モデル・客観的評価の重要性など自閉症支援に必要とされる支援の着眼点を講義形式で実施予定。

実践報告会としては、6事業所より2回のコンサル訪問以降の経過ならびに、中間報告・最終の訪問を踏まえ、利用者の問題行動がどのように変化したかに視点を向け参加施設より報告予定。担当コンサルタントより講評や助言を頂き、総括として講師より自閉症支援に対して構造化や評価の重要性を提言していただく予定。

★実施予定（1回）

内容	日程	場所
自閉症支援における問題行動の対応	2/7	阿倍野区民センター（小ホール）予定